

研究機関：広島大学

研究課題名	Deep learning reconstruction を用いた高分解能 CT の有用性の検討
研究責任者名	医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2024 年 3 月
対象者	2020 年 4 月から 2023 年 12 月の間に、広島大学病院で CT が施行された、または施行される患者さん。
意義・目的	近年、通常の CT 画像を分解能の高い CT 画像に変換するソフトが開発されました。これは人工知能を利用したもので、撮影後の CT 画像に処理を加えることによって分解能を向上させる（病変をより細かく描出する）ことが可能となります。本研究では、臨床で撮影された様々な領域の CT 画像に対してこのソフトを適応し、分解能の高い画像を作成した後、現在使用されている CT 画像と比較します。病変の検出能や画質を比較検討し、従来よりも優れた画像であるかどうかを検討します。
方法	本研究は、大学病院で過去に撮影された CT データに対して画像処理を行い、簡単な統計解析を行う研究です。研究に必要な調査項目は、患者さんの性別、年齢、身長、体重、心拍数、臨床診断、CT 画像、画像診断です。 (個人を特定可能な情報は解析に使用しません)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5257 広島大学病院放射線診断科 診療准教授 立神史稔